

（午前10時40分 再開）

○議長（小林 弘君）休憩前に引き続き会議を開きます。

日程に従い、一般質問を行います。

順番10、6番 辻本君。

〔6番（辻本 勉君）登壇〕

○6番（辻本 勉君）それでは、一般質問を行います。

コロナ、コロナでもう1年半ぐらいになっています。大変な状況が続いておるんですけども、やっとワクチン接種が行われてきましたので、少しは落ち着いてきたかなと思うんですけども、まだまだ、ワクチン接種をかなりやっている、接種率の高いイギリス等ではもう新しいインド株で蔓延してきておるといふ、第2次のおかしな状況になってきていますので、日本もワクチンを接種したからということで安心はできないかなというふうには思っています。

今回は1件だけということで、ワクチンに関する質問ですけども、たくさんの方がやられておりますので、できるだけ簡潔に短くやっていきたいなと思っております。

高齢者（65歳以上）に対する新型コロナワクチン接種予約及び接種状況と今後のワクチン接種（12歳から64歳）について。

新型コロナウイルスは令和2年1月16日に日本国内で初の感染者が確認され、その後、国は緊急事態宣言を発令、他府県への移動制限も出されました。以降、社会経済活動自粛効果により感染者は大幅に減少、それを受けて、G o T o トラベルやG o T o イート事業が実施されました。

しかしながら、第2波、第3波、さらには、現在は第4波と言われておりますが、と新規

感染者が急増し、政府は今年に入り、まん延防止等重点措置を4月20日に埼玉県ほか2県に発出し、5月9日2県、16日に3県追加、続いて4月25日には3回目の緊急事態宣言が東京都ほか3府県に出され、6月20日までですけれども、これは6月21日に解除されまして、まん延防止等重点措置に変更されています。東京都の後に続いて、5月10日に2県、16日に北海道と2県、23日には沖縄県に出されました。沖縄は現在も継続中であります。

そして、現在は全国民が不要不急の外出自粛の中で、新型コロナウイルスワクチンの接種が行われています。とりわけ高齢者、医療従事者等を先行接種しております。本市では4月15日と5月20日に市議会全員協議会にて接種についての具体的な説明がなされました。それ以後、現在の予約、接種状況と、今後、新たに追加されてきた12歳から15歳の問題、そして、16歳から64歳についてお尋ねいたします。

一つ目、現在の状況と、高齢者（施設入者を含む）の接種完了予定について。

二つ目、接種券配布から接種予約、接種までの間での問題点などはないか。

三つ目、今後のワクチン接種予定、とりわけ12歳から64歳の接種について、お聞きします。

四つ目、例年実施しているイベント等について、昨年度はほとんど中止ということになったんですけども、本年度についてどのように考えているか、お尋ねいたします。

五つ目、コロナ禍での市内事業者の経営状況等について。

以上、壇上よりの質問といたします。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君の質問、

高齢者に対するワクチン接種予約及び接種状況と今後のワクチン接種に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（土井加奈子君）登壇〕

○健康福祉部長（土井加奈子君）高齢者（65歳以上）に対する新型コロナワクチン接種予約及び接種状況と今後のワクチン接種（12歳から64歳）についてお答えします。

まず、一点目の、現在の状況と高齢者の接種完了予定についてですが、ワクチン接種を希望する高齢者の予約はほぼ終了しており、8月7日で75%以上の方が2回目を終了できるよう、紀和病院及び市民病院には土曜日の接種を、個人の医療機関には前倒しでの接種をお願いしています。

次に、二点目の、予約券配布から接種予約、接種までの間の問題点などについてお答えします。

4月19日に高齢者へ接種券を発送し、随時予約が開始されました。当初は、電話がつかない、一部の医療機関で診療の方とワクチン接種の予約の方の来院が重なり密な状態になっているなどの問合せがコールセンターにあり、委託業者の不慣れな対応もあり、非常にご迷惑をおかけしましたが、5月17日からのワクチン接種については順調に進んでいます。また、市民病院が5月17日からの予約開始、5月31日からの接種開始となったため、コールセンターへの問合せが増加しました。

このような経験を踏まえ、16歳から64歳までの方の接種開始に向け、体制を整えていきたいと考えています。

次に、三点目の、今後のワクチン接種についてですが、6月16日に16歳から64歳までの約3万3,000人の方に接種券を送付しました。予約が集中するのを防ぐため、まず、基礎疾患を有する方、高齢者施設等の従事者、60歳

以上の方の予約開始日を6月23日からとし、その後、年齢を3段階に分けて、予約開始日を6月29日、7月1日、7月7日と設定しています。

また、平日の接種が難しい方のために、8月28日から本市保健福祉センターで土曜日、日曜日の集団接種を実施し、約70%の方が11月中旬に接種が完了するよう体制を整えています。

なお、12歳から15歳までの児童生徒については現在調整中ですが、対象の児童生徒に対して意向調査を実施したいと考えています。

○議長（小林 弘君）危機管理監。

〔危機管理監（廣畑 浩君）登壇〕

○危機管理監（廣畑 浩君）次に、四点目の、例年実施しているイベント等についてお答えします。

本市におけるイベントの開催等については、政府の新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を踏まえ作成した橋本市感染拡大予防ガイドラインにより判断することになっています。

市長部局における主な今年度実施予定のイベント等の現在の状況ですが、まず、「まっせ・はしもと」については、近日中に実行委員会を立ち上げ、今後の感染状況等を勘案し、開催の可否を検討する予定です。また、紀の川橋本サマーボールの開催可否やイベント内容の最終判断については、7月上旬頃に行うものとしています。

次に、教育委員会に関するものについてですが、例年8月に開催している子ども冒険村は、宿泊を伴う事業であることなどから、安心安全に実施することは困難と判断し、昨年度に引き続き今年度も中止することにしました。また、各地区公民館が主催する夏祭りも、感染防止対策が取れないことから中止します。

次に、すこやか橋本まなびの日については、

実行委員会を開き、新型コロナウイルス感染症対策を含め、開催について検討中です。特に今年度は、紀の国わかやま文化祭2021の障がい者交流事業、橋本市ふれあいフェスタとの同時開催を予定していますが、最終的には、和歌山県実行委員会の動向や新型コロナウイルスの感染状況も踏まえ、開催か中止かの判断をすることになります。

このほか、橋本マラソンや公民館事業のナチュラルブレイク、紀見峠ふるさと展望、「ふれあって！せいぶ」や公民館まつりなどの開催について現在検討中であり、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、判断していきます。

○議長（小林 弘君）経済推進部長。

〔経済推進部長（北岡慶久君）登壇〕

○経済推進部長（北岡慶久君）次に、五項目の、コロナ禍での市内事業者の経営状況等についてお答えします。

市内事業者への新型コロナウイルス感染症の影響は、不要不急の外出自粛の要請や近隣府県への緊急事態宣言の発出により大きく左右され、飲食・宿泊関係やその納入業者など幅広い業種に影響が及んでいます。

さらに、その影響はそこで働く従業員やアルバイトの生活にも及んでいることは、社会福祉協議会の生活福祉資金の特例貸付けの申請が増加していることなどからも明らかです。

今回のコロナ対策として実施する、みんなで支えあい橋本市生活応援クーポン券は、これまでのクーポン券と異なり、地元事業者をみんなで支え合うために、少なくとも半分を地元店舗で使用する仕組みとしています。また、使用期間も来年1月末までの期間としていますので、感染拡大の状況が改善され、外出に対する不安が解消されるようになったときは、クーポン券をきっかけに多くの方に地元店舗をご利用していただき、市内経済の浮

揚のきっかけとなるよう取り組んでまいります。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君、再質問ありますか。

6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）1番とか2番の部分につきましては、結構、直前の9番議員のほうでの答弁でありましたので、重複はしないようにしたいと思いますが、ワクチン接種を希望する高齢者の予約はほぼ終了ということなんですけども、高齢者は2万1,000人ぐらいになっていると思うんですけど、正確な数字というのは、2万1,000人中、何人ワクチン接種希望があつて予約を受けておるかというのは分かるのでしょうか。

○議長（小林 弘君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（土井加奈子君）現在、接種中であるんですけども、実際、正確な数字というのは、予約もしくは接種がお済みの方の正確な数字というのは把握してございません。

ただ、こちらのほうで接種の枠といいますか、高齢者2万1,000人の75%に当たる枠は十分取ってございますので、その枠がまだ市民病院、紀和病院では若干空いているように聞いてございます。

以上です。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）そうしたら、橋本市の高齢者が最終的に接種を完了しましたという判断中というのは、どこでするんかなど。だから、もう予約があつて、2万1,000人中、何人予約があつて、その方は全て終わりましたということで、もう高齢者は終わりやという判断をするのか。

そこで残されておる人というのは、接種しない人があるでしょう。その辺の数もきっちり押さえていかんと、本来100%であればそれ

が一番いいんやろうけども、いろんな状況、疾患を持っている方もおられますし、いろんな状況があって、もうかなり高齢になって、もう打つの嫌やという方もおられますし、その辺で、そうしたらもう、当初75%ぐらいで一応もうほぼ完了やと、その人らが2回終わったらもうほぼ完了やという判断をするわけでしょうか。その辺だけ答弁を。

○議長（小林 弘君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（土井加奈子君）ご存じのように、このワクチンにつきましては任意接種となっておりますので、高齢者は国のほうからは7月末までに接種を完了というふうになっておるんですけども、やはりご本人のご都合ですとか、もちろん、持たれている病気の関係などで7月末までにできない方も中にはいらっしゃるかもしれませんし、また、それを過ぎて秋や冬の初め頃にまた接種してみようかなと思われる方もいらっしゃるかもしれません。

国のほうでは、全ての国民に対して来年2月末までに接種を完了するようというところで期間を設けられておりますので、一定、高齢者については7月末を目標としていますが、それ以降受け付けないわけではございませんので、最終2月末の時点でどれくらいの方が接種されたかということで接種率が出てくるかと思えます。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）ありがとうございます。

続いて、2番目の、問題点ということで、ここにも明記していただいておりますけども、かなり市民の方から苦情もありましたし、ここに書いていただいたとおり、電話がつかないとか接種の予約の方が来院と重なったりして密になったとかいろんな問題が、コールセンターの問題もありました。

そういうことであつたんですけども、一定、

市民病院が予約開始をされてから、やっぱり落ちてきてきたのかなと。職員についても増員されていますし、いろんな関係でご配慮いただいておりますので落ちてきてきたのかなと思うんですけども、これを受けて、とりわけ高齢者の数と一般の、もともとの16歳から64歳の人数というのは全然違いますので、今後のほうが大変なことは大変だと思うんです。

1回目、高齢者でいろんな問題点が発生して学んできた点、その点については今後、一般の接種に関してやはり十分糧にしていかなとといかんと、問題点がある部分については糧にしていかなあかんということなので、その辺については、職員間といいますか、庁内での話合いというのはされとらんかな。

○議長（小林 弘君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（土井加奈子君）コールセンターの対応についても一定慣れてきてきていると思いますので、今、問合せについて、今のところそれ以上の問題というのは出ておりません。

それから、市のほうの、職員のほうの対応につきましては、6月から職員を2名増員していただきまして、現在、職員5名と、それから会計年度任用職員1名とで対応にあたっております。これは、ワクチンの接種が始まって、そのワクチンの配送計画から、それから、接種が終わってからの接種の確認などについて、一連の作業がかなり膨大となってきますので、2名増強していただきました。

庁内の連携の会議ですか、ワクチンの関係につきましては、ほぼ毎日、担当の職員で会議を開いております。そこで問題点が出てきたら、協議をさせていただいたりですとか、あと医師会の調整などが必要となりましたら、また出向く者の調整であったりとかということを日々させていただいております。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君。

○6番(辻本 勉君)ありがとうございます。十分、毎日、会議を開いていただいて、いろんな問題点が出れば議論していただいているということで、少しは安心ができました。

壇上でも述べたように、全員協議会を2回やっていただきました。これはやはりコロナに関係して、市の体制とかいろんな、予約の状況とかいろんな形に関して丁寧な説明がありまして、議会と当局とが情報共有できたということで、大変これはよかったかなと思っていますので、今後何かあれば、また必要があればぜひとも開いてもらって、情報共有をしていきたいなど、このように思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。

3番目の、今後のワクチン接種予定のところでございますと、とりわけ12歳から15歳の部分が、最近といいますか、浮上してまいりまして、全国的にもいろんな議論がなされています。脅迫電話が入ったりとか、大変困った状況になっているところもあるんですけども、この辺については答弁では一応、児童生徒については現在調整中ですが、対象の児童生徒に対して意向調査を実施したいと考えていますということなんですけども、この辺は教育委員会としてはどういうふうに対応されるのでしょうか、12歳から15歳の部分は。

○議長(小林 弘君) 教育部長。

○教育部長(阪口浩章君) 12歳から15歳までの接種につきましては、教育委員会、それから健康福祉部で一旦協議をいたしました。接種方法としましては集団接種や個別接種の方法があるんですけども、その協議の中では、個人の判断ということの中で個別接種の方針でやっていこうと、そういうような話合いをしてございます。

○議長(小林 弘君) 6番 辻本君。

○6番(辻本 勉君) そうしたら、対象の児童生徒に対しての意向調査というのはいつ頃

実施されるんですか。

○議長(小林 弘君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(土井加奈子君) この年齢の方の意向調査についてなんですけど、今現在、子宮頸がんワクチンの対象の子どもさん方に、意向調査というか、年齢に到達しましたということでまずお知らせをさせていただいています。その上で、ご家族の方、必ず保護者のご了解が必要となってきますので、ご了解があつて接種を希望される方については市役所のほうに連絡をいただくことになっている、そういう流れをとっておるのと同じように、新型コロナウイルスのワクチンにつきましても意向調査という形で、こういうワクチンですよという内容をお知らせした上で、保護者の方、そして児童生徒の方はおうちのほうで相談していただいて、打つご意思が、接種するご意思があられる方は再度こちらにご連絡をいただいた上で接種券を送らせていただくというような流れで考えております。

○議長(小林 弘君) 6番 辻本君。

○6番(辻本 勉君) そうしたら、意向調査票は配るけども、学校としてはもうタッチしないということになるんですか。今の子宮頸がんの絡みのやり方を教えていただいたんですけど、全く同じになると、学校はタッチしないと。

○議長(小林 弘君) 健康福祉部長。

○健康福祉部長(土井加奈子君) 学校のほうでもご説明をいただいたりすることはあるのかと思いますけれども、あくまで、こちらのいきいき健康課もしくは子育て世代包括支援センターと、それからご家庭との連絡になります。

○議長(小林 弘君) 6番 辻本君。

○6番(辻本 勉君) 特に、小6から中3という12歳から15歳の部分につきましては全国的にいろいろにぎわせておるんですけども、

市長に対していろんな圧力がかけたり、いろんな意見が飛び交っておるんですけども、本市として、やはり市長としてどういうふうに考えているのかということについては大変大事な部分ではないかなと。

担当の職員の方の考えもあろうかと思いますが、やはり市のトップの考え方というのは反映していかななくてはならんと思うので、市長はこの辺の接種についてどういうお考えをお持ちなのかということをちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○議長（小林 弘君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）辻本議員の質問にお答えします。

12歳から15歳のワクチン接種については、私は慌てる必要がないかなというふうに思っています。基本的には、やはりお父さんお母さんが打ってもらって、これなら大丈夫というふうな実感を持ってもらうことが大事なと。

やはり副反応もあると思いますし、今の副反応を見ていましたら、熱が出て薬を飲んだら熱も下がって通常に戻れるというような状況もあります。私もまだ左手が痛いんですけども、ただ、手の痛みは残るなというの思います。

先日、河野大臣が夏休み中に接種を打つことが望ましいような発言をされて、もう昨日撤回されていましたが、文部科学省からも指針が出まして、個別接種で12歳から15歳まではやるというような方向性も決まりましたので、もう一つ、ファイザー製のワクチンでないと12歳から15歳までの安全性が保証されておりませんので、ファイザー製のワクチンも確保できた上で、それを打っていくということになると思います。

これはあくまで本当に任意接種なので、や

はり保護者の皆さんの意向を大事にしていきたいと思いますし、希望される方があれば、意向調査の中ですぐ打ちたいという希望の方があれば、接種券も送っていけるのかなというふうに思います。

ただ、できたら、ご両親が打った後に打っていくのが一番ベストかなというふうに考えています。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）ありがとうございます。

それでは、四つ目のところにいきたいと思います。

例年実施しているイベント等についてはですけども、ご答弁をいただいておりますけれども、「まっせ・はしもと」や紀の川橋本サマーボールについては近いうちということなので、まっせは近日中、サマーボールについては7月上旬頃に最終判断を行うということなのですが、教育委員会の関係でいきますと、この辺が検討中とかがいろいろあるんですけど、もうほとんどこれ実行委員会形式でやられているので、実行委員会の開催時期とか、最終的にいつ決定するんなどということがやはり分かったら、一番、市民としてもありがたいというか、そういう予定の行動ができますので、その辺、現時点で分かっている範囲でお答えをいただきたいんですが。

○議長（小林 弘君）教育部長。

○教育部長（阪口浩章君）教育委員会所管のイベントにつきましてなんですけども、まず、すこやか橋本まなびの日、11月14日予定してございます。これは答弁にもございましたように、今年は国民文化祭との合同での開催ということで考えてございます。

実施する方向でもう既に動いてはおるんですけども、やはり国民文化祭の県の実行委員会の動向も踏まえる必要が出てまいりますので、具体的にまなびの日については、開催時

期の判断については今の時点ではまだ未定としてございます。

それから、あと、例えばスポーツ関係でいきますと、市民総体、それから橋本マラソン等大きなイベントがございます。これにつきましても、教育委員会としましては本年度実施していきたいというふうに考えてございます。その上で、市民総体については体育協会と8月上旬をめどに、それからマラソンにつきましても実行委員会さんと8月末をめどに、決定を判断していきたいというふうに考えてございます。

それから、公民館関係なんですけども、大きく3月に行われております公民館まつり、全地区公民館がやっておりますけども、これにつきましても昨年度は中止ということにさせていただいたんですけども、11月中旬頃をめどに開催の有無を判断していきたいと、これは公民館、運営委員の皆さんとともに判断していきたいと考えてございます。

それから、地区公民館のそれぞれのイベントということで、「ふれあって！せいぶ」、ナチュラルブレイク、ふるさと展望等ございます。これにつきましても、やはり各地元の運営委員さんと、これは秋にありますので7月下旬から8月下旬にかけて、教育委員会と公民館、それから運営委員の皆さんで開催の有無を判断していきたいというふうに考えてございます。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君。

○6番（辻本 勉君）ありがとうございます。

そうしたら、次に五つ目の、市内事業者の経営状況等についてということなんですけども、これは、私は市内事業者だけという問題ではないので、これはコロナ禍なので、あらゆる市民に影響を及ぼしているということだと思うんです。もうそういう経営者だけと違って、いろんな方にも影響を及ぼしているので、行

政としてはもうできる限り、いろんな市民のそういうコロナの影響を把握しておく必要があるのではないかとということで質問させていただきました。

それだけではできるだけみんなの状況を把握していただきたいということと、あと経済面でいきますと、9番議員からご質問ありまして、あと10番、12番、16番議員の質問があと控えておりますので、ここはもう私のほうは、全ての人の、全ての市民の状況を把握していただきたいということをお願いしておいで終わりたいと思います。

最後に、何もかも初めてのことで、いろいろ困難はあって大変だったんですけども、高齢者接種で学んだことをやっぱり糧にさせていただきたいし、とりわけ担当職員の、これは全員協議会でも話をしたんですけども、担当職員の過労と言いますが過重労働については十分注意をしていただいて、そうでないとまたミスが発生する可能性もありますので、十分注意していただくと。

市長のご配慮で十分な体制、増員も含めて、十分な体制を取っていただいているということなので、少しは安心できるのではないかなと思うんですけども、とりわけ健康福祉部の職員の方については体調に十分留意していただいて、今後、最終、全市民にコロナワクチンが行きわたるまで頑張っていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたしまして、終わりたいと思います。

○議長（小林 弘君）6番 辻本君の一般質問は終わりました。

この際、11時30分まで休憩いたします。

（午前11時12分 休憩）